

# 11月定例記者会見 会見録

令和3年（2021年）11月2日（火） 11:00～12:00 庁議室

## 質疑応答

### ■「つくばマラソン2021 オンライン大会」の開催について

#### 記者A

つくばマラソンの例年の参加人数を伺います。

#### スポーツ振興課長

一昨年の例で言いますと、約1万8,000人がエントリーして、実際に1万5,000人程度にご参加いただいています。

#### 記者B

つくばマラソンで、Dコースに書いてあるRunmetrix（ランメトリックス）が興味深いのですが、これをこのオンライン大会に取り入れたねらいと、スマホでも走行距離などを測る機能がありますが、そういったものと比べて何が違うのか伺います。

#### 市長

科学の街のマラソン大会として、「マラソンを科学する」というテーマで行ってきています。Runmetrixはアシックスとカシオが共同で開発していて、フォーム修正などにつなげることができるものです。今、スマートウォッチなどでも、色々なものが設定できたり、場合によっては上下動の幅なども取れたりするような商品もありますけれども、これは腰に装着して、フォームの解析につなげるものです。正直、私自身も使ってみたいと思っています。

ただ走るオンラインマラソンではなく、自分のフォームや走りを改善するきっかけにさせていただき、よりマラソンに親しみを覚えてもらうこと、より継続を可能にすることに繋がればと考えています。

#### スポーツ振興課

Runmetrixの導入については、第37回と第38回の大会でランナーの方に、試作品のデータ分析等に協力していただいたものです。

その流れがあって商品化されたので、今回こういった企画のプランを用意しました。

**市長**

今年3月に商品化された新しい商品です。

**記者B**

これは計測したデータを、誰か大学の先生がアドバイスしてくれるというものではなく、自分のアプリの中で、アドバイスが出てくるものでしょうか。

**市長**

アプリの中でアドバイスが出てくるものです。

**記者B**

Dコースの参加費が比較的高いですが、これは機器の値段も含まれてこの値段になるのか伺います。

**市長**

Runmetrixは単体では14,080円、オンラインマラソンはフルとハーフが3,500円、計17,580円。今回15,500円のプランを用意したので、手数料(853円)を除いても別々に購入するより約1,000円お得になります。ぜひお申し込みください。

**記者C**

第37回、第38回大会はいつ行われたのか伺います。

**市長**

2017年、2018年です。

**記者E**

エントリー期間が11月10日と締め切りが迫っていますが、現状どのぐらいのエントリーがあるのか伺います。

**スポーツ振興課長**

本日8時30分現在で、10kmが169名、ハーフが107名、フルが226名、合計502名の申し込みを受け付けているところです。

## 記者E

エントリー期間を延長するという考えはないか伺います。

## スポーツ振興課長

期間の延長は考えていません。

## ■新型コロナウイルスワクチン接種及び市独自PCR検査の最新状況について

### 記者A

新型コロナウイルスワクチン1回目2回目の接種を踏まえて、今回新たに改善した点があれば伺います。

### 保健部長

ワクチン接種につきましては、80%以上の接種率に至っているところです。

今後につきましては、3回目のブースター接種に着目しまして、事業を進めて参りたいと考えています。

ご存知かと思いますが、接種後の時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫性が低下することが懸念されていますので、今後も国からの通知等を踏まえながら、取り組んでいきたいと考えています。

### 記者C

3回目の追加接種について、詳細は決まっていませんとありますが、大まかな方針でも決まっているものがあれば伺います。例えばまず、接種券を送る必要があると思います。つくば市の場合、8か月以上と言われると、国の説明の中にもありますが、医療従事者の方は、12月の半ば後半あたりから接種可能になるかと思いますが、接種はいつ頃を見込んでいるのか。また、送付に向けた接種券の準備などといった今後の大まかな方針を伺います。

### 保健部長

今のお話にありましたとおり、国からの通知では12月から3回目の接種ができるようにと通知されていますので、我々としましては11月中に対象者に接種券が届くように今準備を進めているところです。

そして、対象者への通知につきましては2回目終了者から順次、送付を考えています。医療従事者が最初に接種し始めましたので、医療従事者から、次に、65歳以上の高齢者というような流れで接種券を発送することになると考えています。

**記者C**

確認ですが、先行接種をしていた医療従事者の方や65歳以上の高齢者の方から、順次接種券を11月（今月）に送り始める。今月中に届くようにというのは、そういった方という理解で良いか伺います。

**保健部長**

そういうことになります。

**記者C**

その上で、接種開始時期はいつになるか伺います。

**保健部長**

接種開始は12月からで、12月のいつからということは未定ですが、12月中には開始したいと考えています。

**記者C**

11月中に送って、その後接種になるという理解で良いでしょうか。

**保健部長**

はい。

**記者D**

3回目追加接種は、接種を受ける人の条件で考えたら、2回目接種完了から概ね8か月以上の方からとありますが、逆算すると、今年の4月時点で2回目接種が終わっている人ということになります。そういう人はいるのか伺います。

**保健部長**

医療従事者につきましては4月中に2回接種を完了した方がいます。

**記者D**

65歳以上の方はまだですか。

**保健部長**

はい、まだです。

## 記者 E

65歳以上の高齢者の前に施設入所している高齢者がいませんか。

## 保健部長

施設入所者につきましては、4月中に1回目の接種が終わっている状況です。その後に、5月、6月に入ってから、2回目の接種が行われています。

## 記者 E

すると今回の対象になるのは、医療従事者、施設入所の高齢者、65歳以上の高齢者ということになるか伺います。

## 保健部長

11月中に、順次その順番で接種券を送付する予定となっています。

## ■国家公務員宿舎跡地について

### 記者 F

10月26日付けで国家公務員宿舎跡地（吾妻2丁目/70街区）利用の仕方に対しての「サウンディング型市場調査」実施のプレスリリースが出ています。ここは財務省関東財務局とつくば市とがそれぞれに土地を持っていますが、計算すると、つくば市の土地は全体の5%未満になっていますが、最終的にどのような使い方にするといった考え方は、財務省と市とどちらの発言力が強いのか伺います。

### 市長

今回は市の土地もありますので、市の意向も考慮してサウンディング型調査をしてもらっています。あくまでも大きな部分というのは、関東財務局が所有していますが、市としては、そこに書いたような事業を実施していきたい旨を記載しています。そこを関東財務局としても理解した上でのサウンディング型調査であり、どちらがどうということではなく、中身について協議をしながら、市としての考えをきちんと伝えていくということになると思います。

### 記者 F

いかにこの良い土地を高く売るかということが一番重視するかと思いますが、そうすると利用の仕方のコンセプトについて、あまり厳しい条件をつけると、財務局としては非常に困るということになるかと思いますが。そのため、最終決定権はどちらにある

かということが非常に重要かと思いますが、お考えを伺います。

### 市長

ただ売りたいければ余計な条件をつけずに、売るという判断を関東財務局としてはしたはずですが、そうではなくて二段階にすると。こういうことを考えてくださっているという時点で、単に金額を求めているだけではないということは明らかだと思います。繰り返しますが、大部分が関東財務局の土地ですけれども、市としては、きちんと要望を伝えたいと考えていますし、目指す方向性というのは、大きな枠組みとしては共有できていると私は思っています。

### 記者F

私は財務局の立場ではないですが、財務局は大阪の森友学園で一度大失敗しているわけです。つまり、本来値段を重視しなくてはいけない土地を値段ではなくて、別の利害を絡ませた結果、残念な結果になったわけです。

仮につくば市があまり条件をつけ過ぎると、財務局としても森友学園の二の舞になる可能性があるのではないかと心配しているのですが、どうですか。

### 市長

全く状況が違うと思いますので、ご心配には及ばないと思います。

### 記者F

この土地は駅から近く、1万7,000坪ぐらいの非常に形もいい、アクセスも良い場所です。多分業者さんとしては、入札にあたってはマンションを作りたいと思うのではないかと思います。マンションは駄目ですか。

### 市長

まちづくりの戦略の中でも、住宅だけでない都市機能をどのように集積させていくかということを考えていますし、つくば市のスーパーシティ構想の中にも入っているエリアですので、そういったものを複合的に実現していきたいというのがつくば市としての希望です。

### 記者F

おそらくマンション業者さんも、マンションというのはあまりにも格好悪いとなっていますけども、ここに書いてあるモビリティとか、デジタルとか、イノベーションと

か、こういうキーワードはかなり抽象的なものですので、いくらでも言葉を散りばめながらマンションを作れると思うのですが、マンションは駄目なのか良いのか伺います。

#### **市長**

住宅も含めてどういうものにしていくかということは今からサウンディングしていきますので、マンションが駄目というようなことを申し上げていることはありません。

#### **記者F**

例えばマンションが4割から5割、9割入って、残りをそういうイノベーション的な流れになっても良いということか伺います。

#### **市長**

サウンディング型調査でどういうものが出てくるかというのを含めて、それをこれから関東財務局と一緒に考えていくということです。

#### **終了**